

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院血液内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この研究では、亡くなられた方の診療情報も、貴重な情報として、研究対象として扱わせていただきます。この案内をお読みになり、ご自身やご家族等がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族等の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

2010年1月1日 ～ 2025年1月30日の間に、虎の門病院血液内科にて治療中に侵襲性トリコスポロン感染症を発症された方

【研究課題名】

血液疾患患者に合併した侵襲性トリコスポロン感染症の臨床的特徴についての研究

【研究の目的・背景】

《目的》

当院において血液疾患に対して同種造血幹細胞を含む治療中に侵襲性トリコスポロン感染症を合併した症例について、その原疾患リスク、発症前治療内容、発症時の病状、移植治療の内容、発症後の治療内容や経過、転帰などについての情報をまとめ、侵襲性トリコスポロン感染症のリスクファクターや最適な治療方法について検討します。

《研究に至る背景》

侵襲性トリコスポロン感染症は血液疾患患者に合併する稀な感染症であり、厳しい病状にいたることが一般に知られています。一般的には好中球減少がリスクとして知られ、ポリコナゾールという抗真菌薬による治療が有効とされていますが、そのリスクファクターや適切な治療期間、適切な治療薬選択などのデータは不足している傾向にあります。

【研究期間】

2025年3月24日 ～ 2029年12月31日

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は虎の門病院血液内科 内田直之のもと研究終了後5年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で

廃棄します。

【利用する診療情報】

患者基本情報、治療内容・経過に関する情報(移植治療を受けられている方は移植に関連する情報、移植前後の臨床経過)、全生存期間、無病生存期間、培養検査結果

【虎の門病院における研究責任者・研究機関の長】

研究責任者：血液内科 ・ 内田直之

研究機関の長：院長 門脇 孝

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族等の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族等の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2025年8月31日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 血液内科・内田 直之

電話 03-3588-1111(代表)